

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達センターちよだ		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の支援だけでなく、毎週火曜日(年少児・年中児)隔週土曜日(年長児)を対象に児童発達支援事業での集団療育と保育所等訪問支援事業を合わせて実施することで、子どもの理解を深めて、集団でも個人でも双方で対応できるように支援をしている。	保育所等訪問支援事業の職員も児童発達支援のグループに参加して、複数の職員が一人の子どもの理解や障害特性を理解していきます。	職員間の連携や技術向上を図るために、会議の設定や積極的に子どもと関わったり、家庭訪問の検討も行っています。
2	保育・療育・OTと経験年数の多い職員が対応をしています。	支援員同士で積極的にケース検討を実施しながら、多職種で子ども理解を広げていきます。	定期的な職員会議の時間を確保し、複数での子ども理解をより深めていきます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勤務時間が短い職員もいるため、情報共有を密に行えないこと。	勤務時間以外に連絡があった際でも対応できるように、その都度1ケースずつ丁寧に引継ぎや情報共有をノート等で視覚的にわかるようにします。	情報漏れがないように、小さなことも児童発達支援管理責任者に報告し、文書でしっかりと記録していきます。
2			
3			